VVI Newsletter, Early Summer Issue

みなさん、こんにちは。新年号から少し時間が経ちましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか？

５月になっていきなり夏日になったり、早くも梅雨かと思われる雨だったりと、今年も異常気象の様相をていしています。予報では今年も暑い夏になるとのこと、今から心の準備が必要になりそうです。

この号では、毎年開かれているCWAJ現代版画展に加えて、２０２３年度視覚障害奨学生のご紹介、そして、５月１１日に、久しぶりに皆さんが集まって開かれたECG（Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｃｏｎｖｅｒｓａｔｉｏｎ　Ｇａｔｈｅｒｉｎｇ）のご報告を掲載しています。どうぞお楽しみください。

目次

１．ECG（English Conversation Gathering）報告　　　　半田こづえ（ＥＣＧコーディネーター）

２．２０２３年度奨学生のご紹介　　　田中紀子　（奨学金制度担当）

３．第６７回ＣＷＡＪ現代版画展のご案内

Ｇｅｍｍａ　Ｆｕｊｉｔａｎｉ（ジェンマ・フジタニ）版画展リーダー）

４．編集後記

＊ここから記事にはいります

１．ひさしぶりの対面ＥＣＧ（English Conversation Gatherinｇ）のご報告

　去る５月１１日（土曜日）テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)において２０２４年第１回英会話の集い(ECG)が開催されました。もともと、２０１９年にこの場所でECGの開催を計画していたのですがコロナ禍で開催が見送られた経緯がありました。今回５年越しの夢が叶って開催の運びとなり、VI friends やそのご家族、ボランティアなど３６名の方が参加してくださいました。素敵なキャンパスでの開催をご快諾くださったTemple University Japanにこの場をお借りして御礼申し上げます。

　今回のECGのテーマは、「スウェーデン文化を楽しむ」でした。CWAJ会員のMadeleine Imaiからスウェーデンの生活や文化について楽しいクイズを交えた話があり、参加者からも沢山の質問が出されて会場は和やかな雰囲気に包まれました。その後Madeleine手作りのスウェーデン料理、そして、今年のVVI委員長の一人Nancy 手作りのデザートをいただきながら、スウェーデンの伝統楽器「ニッケルハルパ」(Nyckelharpa)の演奏を楽しみました。演奏してくださったのは、Madeleine の友人の川上　みくさんで、豊かな響きを持つこの楽器の音色と静かで素朴なメロディーにスウェーデンの人々の心情が想像できました。ニッケルハルパを後で触らせていただいたのですが、バイオリンより少し大きく、4本の演奏弦と12本の共鳴弦があり、鍵盤が付いている楽器です。川上　みくさんによると、ニッケルハルパはスウェーデンでも楽器屋さんでは売っていないので、職人さんにお願いして作ってもらうそうです。CDや動画などでは、豊かな共鳴の音がカットされてしまうことが多いそうですが、皆様も機会がありましたらこの独特な響きを是非聞いてみてください。

　スウェーデンでは「会うことが大事」と言われているそうです。今回のECGは、正に、それを感じるひとときとなりました。ご参加くださった皆様ありがとうございました。読者の皆様の次回のECGへのご参加を一同心からお待ちしています。 以上ご報告:ECGコーディネーター：Vicky Mulehleisen（ヴィッキー・ムーライゼン）及び

半田こづえ）

＊ここからは、ECGに参加された皆さんのコメントをいくつかご紹介します。

①とても有意義な半日を過ごさせていただきました。多くの方々の誘導・設営など感謝いたしますヘレンケラー女史の二度目の来日（1948年）により障碍者に関する法律が整備され始め、ヘレンケラー協会で1950年から自立支援のための按摩・鍼灸の訓練が始まったそうです。しかしもっと早く、CWAJがその前年から活動されたことには驚きます。経済的な支援は何もできないのが恥ずかしいですが僕の人生の最後に来て皆様の存在には本当に心を打たれます。
今回スェーデンの料理と伝統音楽を耳と舌で楽しみ心に残りました。付け焼刃でネットでスウェーデンのことを調べて、高福祉で中立・自由な国と思い込んでいましたが、現実的には、NATO加盟など、抱える問題は多いのだと知りました。本当に英語をもっと勉強して、世界のニュース。世界の人々とのお話していかなければならないと思いました

②スウェーデンの事ははじめて知る事も色々あり又ランチも大変美味しかったです。ご馳走様でした！各テーブルに点字の資料が配られていたのですが、普通校出身のため皆さんが何を読んでいたのかわからず戸惑ってしまいました。拡大文字の資料も有れば良かったです。

③今日は美味しい料理とお話をありがとうございました。スウェーデンには行ったことがありませんが、映画「サーミの血」を見たことがあり興味がありました。講演者の声が小さく、というより周りの声が大きく、また板書の文字が薄くてわかりづらいところもありましたが、ためになりました。周りにスウェーデンの方がいないので、とても興味深かったです。近くにIKEAがあったら、ミートボール買いたいくらいです。

④皆さんと久しぶり、本当に久しぶりにお会いでき楽しいひとときをありがとうございました。

スウェーデンのお話、音楽、お料理盛りだくさんの贅沢な時間が心を潤してくれました。ジャムとミートボールを一緒に食べるのは初めてで少し戸惑いながらお口に入れたらとっても美味しく、先入観は自分を狭くしてしまうお勉強もできました。

音楽は生演奏で音色がなんとも言えずこちらも初めてでした。大切な楽器にも触れさせていただき感謝いたします。

スウェーデンと言えばボルボのイメージ。以前お友達がボルボに乗せてくれた時、シートがなんとも言えない心地よさでした。またペースメーカーもスウェーデンからだったことにとっても驚きました。200個のミートボールにキャロットケーキやクッキーを焼いてくれて、更には私たちに分かりやすいようにお皿の形を変えてくれた心温まるおもてなしに感謝いたします。

今日は思い切って外出して本当に良かったです。

⑤Thank you for your guide on the CWAJECG event on May 11th. I had a lot of fun with ECG members at the Temple College Sangenjaya. I enjoyed Madeline Imai speech about Sweden, delicious lunch and music.　I'm looking forward to the next ECG event.

２．２０２３年度奨学生のご紹介とCWAJ奨学金プログラムについて

CWAは視覚に障害のある学生を対象にした奨学金プログラムを提供しています。この奨学金は、1978年に設立され、日本で最初の視覚障害者を対象とした給付型奨学金です。対象は、日本国籍あるいは日本国特別永住権をもつ視覚に障害のある学生です。奨学生は学業成績、研究課題の質と実現性、社会への貢献度を基準に選考され、年齢や専攻分野への制限はありません。

具体的には、２つの奨学金があります。一つはCWAJ視覚障害学生海外留学大学院奨学金で、海外の大学院等へ留学を希望する日本国籍、または日本特別永住権を有する資格に障害がある方を対象にした奨学金プログラムで、奨学金申込時点では社会人の方も応募可能です。もう一つはCWAJ視覚障害学生国内奨学金で、日本の大学や大学院で学ぶ日本国籍、または日本特別永住権を有する視覚に障害のある学生を対象にしたプログラムです。

2024年度も２名の素晴らしい視覚障害学生国内奨学金の受給者を選出致しました。

お一人目の奨学生は、筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群障害科学学位プログラム博士後期課程に在籍している岸良隼人（きしらはやと）さんです。博士前期課程では、障害のある大学生が修学する上で直面する困難の軽減に寄与するテクノロジーや環境調整に主眼を置いた研究活動に取り組んでいらっしゃいました。そして現在は、公正に参加できるグループ学習を設計するために必要な要素の解明に取り組んでおられます。将来的には、障害当事者の視点や経験も活かしながら、社会的障壁の解消に役立つ研究・実践等に取り組む研究者になることを目標にされています。お二人目の奨学生は、国際基督教大学3年生の玉置陽南（たまおきはるな）さんです。玉置さんは、土とは何か、土が死んだ生物から新たな命へ物質をリサイクルする仕組みなどについて興味を持たれており、葉や枝などの有機物が分解される過程や速度の違いと、有機物の種類や土壌の性質の関係について研究したいと考えておられます。将来的には、持続可能な農法や暮らし方の確立に貢献したいと考えていらっしゃいます。お二人の奨学生に温かいエールをお送りください。

尚、2025年度の奨学生募集については、改めて次号でお知らせいたします。

田中紀子　（奨学金制度担当）

1. 第６７回CWAJ現代版画展の開催について

毎年のCWAJ現代版画展は、日本の現代版画を展示販売する会として高く評価されています。

　第６７回を迎える今年の版画展では、著名な作家また期待の新人作家による２００を越える作品が展示される予定です。日程は、１０月１６日（水曜日）から２０日（日曜日）まで、隔日午前１１時から午後６時まで（最終日は午後５時まで）開かれます。会場は、代官山ヒルサイド・フォーラム（渋谷区代官山２９－１８）です。また、CWAJ版画展オンライン・ギャラリーでも、作品の購入が可能です。こちらは、１０月２２日（火曜日）から２７日（日曜日）までです。

また、いつものようにHands-on　Artも開かれる予定です。展示作品の中から選ばれたいくつかの作品を立体コピーで鑑賞したり、全体のギャラリーを、ボランティアの案内で鑑賞することができます。是非お出かけください。会場でお待ちしています。

　　　　　　　　　　　　　　　　 ６７回版画展担当リーダー ジェンマ・藤谷

以下に、オリジナルの英語メッセージを続けます。

67th CWAJ Print Show

The 67th CWAJ Print Show is a highly respected annual exhibition and sale of contemporary Japanese prints. We will exhibit over 200 contemporary prints by established and emerging artists. It will be held on October 16 (Wed.) – 20 (Sun.) from 11 am – 6pm (Sunday 5pm) at Hillside Forum, Daikanyama, Tokyo. You can also view and purchase prints on the CWAJ Print Show Online Gallery from October 22 (Tue.) until 27 (Sun).

We would like to invite you to visit and enjoy the exhibition through Hands-on-Art program. While touching tactile prints of a few selected artworks, a volunteer guide will explain about the prints and then take you around the exhibition.

We look forward to seeing you at the 67th CWAJ Print Show!

５．編集後記

今回も、お読みいただいてありがとうございます。内容はいかがでしょうか？

いつもNew Year Issue（新年号）の次には、４月末にSpring Issue（春号）をお送りしていますが、５月に対面でのECGが開かれることになったことや、同じ５月のCWAJ定例会に、奨学金制度で選ばれた方の正式にご紹介されることを考慮して、時期を延ばし、６月初旬の“Early Summer　Issue”としました。

コロナのために集まることができず、オンライン開催が続いていたECGが、４年ぶりに対面で開かれました。参加の皆さんが楽しく過ごされた様子をお楽しみいただけたらうれしいです。そして次回には、是非あなたも！ご参加をお待ちしています。

また、今年もHoA（ハンズ・オン・アート）が開かれます。詳細は、９月末に掲載しますと共に、ご案内が直接送られる予定です。今年こそ、是非ご参加を！お待ちしています。

VVI Newsletter Early Summer Issue, dated June

制作担当：いしいふみこ

発送担当：もとむらみちこ